

## 総評

社会と英語が特に易しく、理科も易しめで、5教科の平均点も高めになりました。

2年生になると、学習内容は一段難しくなり、差がつきやすくなります。内申点では、1・2年生の成績が全体の7分の4を占めるので、今のうちに入試を見すえた具体的な目標を立て、目標に向かって頑張りましょう。

道コンなどの試験も、範囲が広くなるにつれ、入試に近い出題が増え、教科書内容をひとつお理解しただけでは高得点を得るのが難しくなってくるでしょう。

基礎・基本の定着はもちろんのこと、今後はより入試に近い実践的な問題に挑戦し、慣れていく必要があります。今回の試験でよい成績だった人も、油断することなく、一層の実力アップにチャレンジしてください。

## 国語

やや難しい出題でした。

㊦の漢字の読み書きは、なじみのない言葉が多かったためか、全体的に得点率が低くなりました。特に小学生で習った漢字は確実に書けるように練習しておきましょう。㊦は、問三の得点率が特に低くなりました。指定形式に注意し、過不足なく説明できたかどうかのポイントです。㊦は問三(2)、問四が難しかったようです。問四は、一回性の有無にふれていない答案が散見されました。文章の内容を正しく読み取る力に加えて、読み取った内容を条件に沿って適切に表現する力を身に付けましょう。㊦の古文は、全体的に難しかったようです。解けなかった人は、口語訳と対比しながら、もう一度読んでみましょう。問三は「現代語」指定の問題です。古語で書かないように気をつけましょう。

## 数学

難問は少なく、平均点も標準的ですが、中難易度の問いが多く、差がつきやすい出題となりました。

①はどれも解けるようにしたい基本問題です。問6の辺どうしの関係はたいへん重要です。箱などを使って実際に確認してください。②問1、まずは作図を見直してください。「どの点を中心に」「どの向きに」「何度」の3点を確認し、各辺がどのように移動するのかを確かめましょう。大問③、方程式や比例式は、他の分野の問題を解くときにも必要となる重要単元です。今回の3題はいずれもたいへん重要な問題ですから、復習して必ずこくふくしましょう。④は、まず問1と問2をしっかりと復習しましょう。問3は解説を読んでもう一度チャレンジしてみましょう。⑤の問2、作図は入試でも毎回必ず出題されます。いろいろな問題にチャレンジしよう。

## 社会

易しい出題でした。

地理分野では、②問3の時差に関する問題で得点率が低くなりました。間違えた人は解説をよく読み、問題の解き直しをしましょう。また、④問8の「南アメリカの国々の輸出品目」に関する問題でも得点率が低くなりました。教科書や資料集などを活用して、世界の各国の輸出品や輸入品の特徴を確認しましょう。

歴史分野は、⑦問6の「御成敗式目」に関する記述問題で得点率が低くなりました。語句を暗記するだけではなく、その語句について説明できるようにしましょう。また、⑧問5の「室町時代の農村や都市のようす」に関する問題でも得点率が低くなりました。特に、「町衆」という語句を答えられていない答案が目立ちました。教科書などで前後の内容を含めて確認しましょう。

## 理科

全体としては易しい出題でした。

①は、問2は、無回答の答案が目立ち、得点率が非常に低くなりました。まちがえた人は教科書をしっかりと確認しておきましょう。②は、問2を間違えた人が多かったようです。状態変化と温度について復習してください。③と④は、特に難しい出題がなかったこともあり、全体によくできていました。ただし、④の問3(2)では、「孢子」の漢字間違いが非常に目立ちました。普段から正しく漢字を書くことを意識して学習しましょう。⑤は、やや応用的な問題がありましたが、さほど得点率は下がらず、しっかりと得点できた人も多かったようです。2年生で学習する内容は非常に多く、難しい内容も増えます。今のうちに1年生で学習した内容をしっかりと身につけておきましょう。

## 英語

全体としては易しめの出題でしたが、できがよくなかった問題もいくつか見られました。中1で学習した内容なので、間違えた問題がある人は2年の学習が進む前に復習しておきましょう。また、今後は入試の出題傾向に合った問題を解く機会を増やし、教科書で習ったことを問題の中で活用していけるようにしましょう。

②問5の(2)は得点率が最も低くなりました。「studies」と三単現の形で答えられたでしょうか。確認しておきましょう。

③問2も、できなかった人が多かったようです。earlyのスペルミスやgotが現在形になっている解答が目立ちました。しっかりと見直しておきましょう。

④問2(1)も得点率が低くなりました。「その」を間違えた人が意外といたようです。復習しておきましょう。